

わが子を襲うメール、プロフ、裏サイトで でのいじめをどう察知するか

**充電はリビングで
ロックはかけさせない**

子供の世界で、携帯電話のメールやインターネットを使ったいじめが増えていきます。なかでも「プロフ」（携帯電話からアクセスする自己紹介ページ）や「学校裏サイト」（各学校の公式ホームページではなく、在校生や卒業生が情報交換をすることを目的に作る掲示板）のトラブルは社会問題にもなっています。

こうしたネット上のいじめは、匿名で個人を中傷できるのでどうしても内容がエスカレートしがちです。しかも卑猥な写真を勝手に投稿されたり、自殺者も出す深刻な実態があるのに、教師や保護者などの大人はその存在にすら気付かない。ただ、中学生で約六〜七割、高校生になるとほとんどの子が携帯電話を持っていますから、持たせないのは現実的な選択とはいえません。わが家では、現在中学生の娘が幼稚園児の頃から「この番号を押すと、お母さんにつながるよ」と言って携帯電話を持たせていました。母子家庭で私が外で仕事をしていたため、出会い系、ワン切り、知らない人からのメール、非通知でかかってくる電話の怖

インターネットを使いたいじめ・中傷・いたずらを身近で見聞きしたことがあるか？



出所：ネットスター「第6回家庭でのインターネット利用実態調査」2007年7月（n=515）

せました。理由は「家の電話の子機だから」。今は出会い系・アダルト系サイトはアクセスできないようにもできます。

すでにお子さんが携帯電話を持っているご家庭では、食事中でもメールをやめない、料金が毎月何万円もかかる、など問題になったことが一度はあるでしょう。そこでキレて、約束を守れなければ電話機を没収する、契約を解除するといった条件を切り出すのです。子供は没収が一番怖いですから、約束は守ります。

女の子は親と話す子が多いようですが、男の子は小学校高学年にもなると何も話してくれません。親御さんから、「状況がわからない」「今日落ち込んでたけど、理由がわからない」といった相談をよく受けます。「お子さんは携帯電話をお持ちですか？」と尋ねると、もちろん持っているメールも結構やっていますね。

いじめの発見で特に大事なものはメールですが、もし何か心当たりがあるなら、メールは無断で覗いたほうが良い。プライバシーがどうだと反対される方もいら

っしゃるでしょうが、自分の子供が何をしているかを知るのは、親の義務です。また、覗き見していることは絶対子供に言っはけません。後ろめたさは残りますが、親が覗くとわかったら、都合の悪いメールは削除してしまうからです。トラブルを察知したら、メールを読んでも知らないふりをして「何かあった？」とさりげなく聞いてみる。実際、そうして親子関係を修復できた例もあります。加害者とわかった場合は、難しいけど「先生にちよつと聞いたけど、あなたはやってないよね」から「見せない」「何か隠してるよね」と詰めていく。

安易に携帯電話を買い与えるのは、親が怖さを知らないからです。ネットで知り合う人の中には、自分の身を偽る人もいます。どんな相手かわからない人と友達になる必要がありますか？ 覚せい剤など薬物の入手経路にアクセスする可能性すらある。そうした危険からわが子を守るためには、親自身がもつと勉強する必要があります。ではないでしょうか。 **P**



エンジェル社長
山崎世美子
Semiko Yamazaki

1962年、大阪府生まれ。ブティック経営等を経て98年、女性探偵事務所エンジェルサーチ設立。2002年より現職で男女間トラブル・離婚カウンセリングを行う。著書に『女探偵が教える心のどきかた』ほか。

心当たりがあるなら、メールは無断で覗いたほうが良い